

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教 科： 地理歴史 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめているようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 単元地図と地理情報システム 【知識及び技能】日常生活の中でみられる地図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 GIS教育 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日常生活の中でみられる地図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲などに着目して、目的や内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	○	○	○	4
	B 単元 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 GIS教育 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

1 学 期	C 単元 「世界の地形」「気候」と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地形や気候から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考・判断・表現力等】 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や地形や気候などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、地形や気候などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 GIS教育 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地形や気候から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や地形や気候などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、地形や気候などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	D 単元 世界の「言語」「宗教」と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が言語や宗教から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考・判断・表現力等】 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や言語、宗教などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、言語、宗教などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 多文化教育 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が言語や宗教から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や言語、宗教などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、言語、宗教などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	E 単元 「歴史的背景」「産業」と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が歴史的背景や産業から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考・判断・表現力等】 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や歴史的背景や産業などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、歴史的背景や産業などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 多文化教育 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が歴史的背景や産業から影響を受けたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、場所の特徴や歴史的背景や産業などの社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、歴史的背景や産業などを基によりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

2 学 期	F 単元 地球的課題と国際協力 【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解し、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 世界各地で見られる地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 多文化教育 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解し、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現】 世界各地で見られる地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	15
定期考査				○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 現代の歴史総合 みる・読み解く・考える ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 欧米列強の成立と日本の近代化 【思考力、判断力、表現力等】 近代国家とは何か 【学びに向かう力、人間性等】 現代の自分たちとの対比	・指導事項 市民革命、日本の近代化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 用語や概念を適切に習得し活用できる 【思考・判断・表現】 諸資料を活用して適切な思考・判断を行い、言語活動を通じた表現ができている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組み、現代の自分たちとのつながりや対比に取り組んでいる	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】 帝国主義と世界大戦 【思考力、判断力、表現力等】 大衆政治とは何か 【学びに向かう力、人間性等】 現代の自分たちとの対比	・指導事項 市民革命、日本の近代化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 用語や概念を適切に習得し活用できる 【思考・判断・表現】 諸資料を活用して適切な思考・判断を行い、言語活動を通じた表現ができている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組み、現代の自分たちとのつながりや対比に取り組んでいる	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 第二次世界大戦と戦後国際秩序 【思考力、判断力、表現力等】 戦後日本の独立とは何か 【学びに向かう力、人間性等】 現代の自分たちとの対比	・指導事項 市民革命、日本の近代化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 用語や概念を適切に習得し活用できる 【思考・判断・表現】 諸資料を活用して適切な思考・判断を行い、 言語活動を通じた表現ができている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組み、現代の自分たちと のつながりや対比に取り組んでいる	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	D 単元 【知識及び技能】 冷戦と世界経済 【思考力、判断力、表現力等】 世界経済の成長とは何か 【学びに向かう力、人間性等】 現代の自分たちとの対比	・指導事項 市民革命、日本の近代化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 用語や概念を適切に習得し活用できる 【思考・判断・表現】 諸資料を活用して適切な思考・判断を行い、 言語活動を通じた表現ができている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組み、現代の自分たちと のつながりや対比に取り組んでいる	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 グローバル化する世界 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化とは何か 【学びに向かう力、人間性等】 現代の自分たちとの対比	・指導事項 市民革命、日本の近代化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 用語や概念を適切に習得し活用できる 【思考・判断・表現】 諸資料を活用して適切な思考・判断を行い、 言語活動を通じた表現ができている 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組み、現代の自分たちと のつながりや対比に取り組んでいる	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史科 科目 世界史探究基礎

教科： 地理歴史科 科目： 世界史探究基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 3 組 6 組

使用教科書：（ 世界史探究 詳説世界史 山川出版社 ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章「文明の成立と古代文明の特質」を理解する	文明の誕生 古代オリエント文明とその周辺	文明の誕生 古代オリエント文明とその周辺 についてまとめる	●	●	●	12
	定期考査			●	●	●	1
	第1章「文明の成立と古代文明の特質」を理解する	南アジアの古代文明 中国の古代文明 南北アメリカ文明	南アジアの古代文明 中国の古代文明 南北アメリカ文明 についてまとめる	●	●	●	14
	定期考査			●	●	●	1
2 学 期	第2章「中央ユーラシアと東アジア世界」を理解する	草原とオアシスの世界 秦・漢帝国 中国の動乱と変容 東アジア文化圏の形成	草原とオアシスの世界 秦・漢帝国 中国の動乱と変容 東アジア文化圏の形成 についてまとめる	●	●	●	14
	定期考査			●	●	●	1

期	第3章「南アジア世界と東南アジア世界の展開」 第4章「西アジアと地中海周辺の国家形成」を理解する	仏教の成立と南アジアの統一国家 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 東南アジア世界の形成と展開 イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家	仏教の成立と南アジアの統一国家 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 東南アジア世界の形成と展開 イラン諸国家の興亡とイラン文明 ギリシア人の都市国家 についてまとめる	●	●	●	13	
	定期考査			●	●	●	1	
3 学 期	第4章「西アジアと地中海周辺の国家形成」 第5章「イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成」を理解する	ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ヨーロッパ世界の形成	ローマと地中海支配 キリスト教の成立と発展 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ヨーロッパ世界の形成 についてまとめる	●	●	●	12	
	定期考査			●	●	●	1	
								合計
								70

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史科 科目 日本史探究基礎

教科： 地理歴史科 科目： 日本史探究基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 ～ 6 組

使用教科書：（ 日本史探究 詳説日本史 山川出版社 ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第11章「近世から近代へ」を理解する	開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足	開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足 についてまとめる	●	●	●	12
	定期考査			●	●	●	1
	第12章「近代国家の成立」を理解する	明治維新と富国強兵 立憲国家の成立	明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 についてまとめる	●	●	●	14
	定期考査			●	●	●	1

2 学 期	第13章「近代国家の展開」を理解する	日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制	日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 についてまとめる	●	●	●	14
	定期考査			●	●	●	1
	第14章「近代の産業と生活」を理解する	近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化	近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化 についてまとめる	●	●	●	13
	定期考査			●	●	●	1
3 学 期	第15章「恐慌と第二次世界大戦」を理解する	恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 についてまとめる	●	●	●	12
	定期考査			●	●	●	1
							合計
							70

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科： 地理歴史 科目： 世界史演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（『詳説 世界史探究』山川出版）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	・諸地域の歴史的特質の形成について理解する	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 授業スライドの発問に対する取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	・諸地域の歴史的特質の形成について理解する ・諸地域の交流・再編について理解する	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 授業スライドの発問に対する取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1

2 学 期	・諸地域の交流・再編について理解する ・諸地域の結合・変容について理解する	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジア諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパの動向 第12章 産業革命と環太平洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 授業スライドの発問に対する取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	・地球世界の課題について理解する	第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界	【知識・技能】 小テスト、および考査での達成度 【思考・判断・表現】 授業スライドの発問に対する取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 各学習活動に対する参加度	○	○	○	12
3 学 期	定期考査			○	○		1
	入試問題への対応力をつける 個別指導	入試問題演習	入試問題演習への取り組み	○	○		10
							合計
							70

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 世界史探究

教科： 地理歴史科 科目： 世界史探究 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 2 組 6 組

使用教科書：（ 世界史探究 詳説世界史 山川出版社 ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第6章「イスラーム教の伝播と西アジアの動向」 第7章「ヨーロッパ世界の変容と展開」 第8章「東アジア世界の展開とモンゴル帝国」を理解する	イスラーム教の諸地域への伝播 西アジアの動向 西ヨーロッパの封建社会とその展開 東ヨーロッパ世界の展開 西ヨーロッパ世界の変容 西ヨーロッパの中世文化 アジア諸地域の自立化と宋 モンゴルの大帝国	イスラーム教の諸地域への伝播 西アジアの動向 西ヨーロッパの封建社会とその展開 東ヨーロッパ世界の展開 西ヨーロッパ世界の変容 西ヨーロッパの中世文化 アジア諸地域の自立化と宋 モンゴルの大帝国についてまとめる	●	●	●	24
	定期考査			●	●	●	1
	第9章「大交易・大交流の時代」 第10章「アジアの諸帝国の繁栄」 第11章「近世ヨーロッパ世界の動向」を理解する	アジア交易世界の興隆 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 オスマン帝国とサファヴィー朝 ムガル帝国の興隆 清代の中国と隣接諸地域 ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の成立 オランダ・イギリス・フランスの台頭 北欧・東欧の動向 科学革命と啓蒙思想	アジア交易世界の興隆 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 オスマン帝国とサファヴィー朝 ムガル帝国の興隆 清代の中国と隣接諸地域 ルネサンス 宗教改革 主権国家体制の成立 オランダ・イギリス・フランスの台頭 北欧・東欧の動向 科学革命と啓蒙思想をまとめる	●	●	●	26
	定期考査			●	●	●	1
2 学	第12章「産業革命と環大西洋革命」 第13章「イギリスの優位と欧米国民国家の形成」 第14章「アジア諸地域の動揺」 第15章「帝国主義とアジアの民族運動」を理解する	ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 アメリカ合衆国の発展 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 西アジア諸地域の変容 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの植民地化 東アジアの激動 第二次産業革命と帝国主義 列強の世界分割と列強体制の二分化 アジア諸国の変革と民族運動	ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 アメリカ合衆国の発展 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 西アジア諸地域の変容 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの激動 第二次産業革命と帝国主義 列強の世界分割と列強体制の二分化 アジア諸国の変革と民族運動についてまとめる	●	●	●	30
	定期考査			●	●	●	1

3 学 期	第16章「第一次世界大戦と世界の変容」 第17章「第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成」 第18章「冷戦と第三世界の台頭」を理解する	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ地域の民族運動 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 第二次世界大戦 新しい国際秩序の形成 冷戦の展開 第三世界の台頭とキューバ危機 冷戦体制の動揺	第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 アジア・アフリカ地域の民族運動 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 第二次世界大戦 新しい国際秩序の形成 冷戦の展開 第三世界の台頭とキューバ危機 冷戦体制の動揺についてまとめる	●	●	●	36
	定期考査			●	●	●	1
	第19章「冷戦の終結と今日の世界」を理解する 個別指導	産業構造の変容 冷戦の終結 今日の世界 現代文明の諸相	産業構造の変容 冷戦の終結 今日の世界 現代文明の諸相についてまとめる	●	●	●	20
							合計 140

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 日本史演習

教科： 地理歴史科 科目： 日本史演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 ～ 6 組

使用教科書：（ 日本史探究 詳説日本史 山川出版社 ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第14章「近代の産業と生活」 第15章「恐慌と第二次世界大戦」 を理解する	近代産業と昭和恐慌 満洲事変、第二次世界大戦と太平洋戦争	近代産業と昭和恐慌 満洲事変、第二次世界大戦と太平洋戦争 についてまとめる	●	●	●	12
	第16章「占領下の日本」を理解する	占領と改革 冷戦の開始と講和	占領と改革 冷戦の開始と講和 についてまとめる	●	●	●	16
	定期考査			●	●	●	1

2 学 期	第17章「高度経済成長の時代」を理解する	55年体制 経済復興から高度成長へ	55年体制 経済復興から高度成長へ についてまとめる	●	●	●	16
	第18章「激動する世界と日本」を理解する	経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容	経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の変容 についてまとめる	●	●	●	12
	定期考査			●	●	●	1
3 学 期	入試問題への対応力をつける 個別指導	入試問題演習	入試問題演習への取り組み	●	●	●	12
							合計
							70

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 日本史探究

教科： 地理歴史科 科目： 日本史探究 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 ～ 6 組

使用教科書：（ 日本史探究 詳説日本史 山川出版社 ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章「日本文化のあけぼの」～第3章「律令国家の形成」を理解する	日本文化のあけぼの 律令国家の形成	日本文化のあけぼの 律令国家の形成 についてまとめる	●	●	●	24
	定期考査			●	●	●	1
	第4章「規則政治の展開」～第6章「武家政権の成立」を理解する	貴族政治と国風文化 中世社会の成立	貴族政治と国風文化 中世社会の成立 についてまとめる	●	●	●	26
	定期考査			●	●	●	1
2 学 期	第7章「武家社会の成長」～第8章「近世の幕開け」を理解する	武家社会の成長	武家社会の成長 についてまとめる	●	●	●	30
	定期考査			●	●	●	1

3 学 期	第9章「幕藩体制の成立と展開」～ 第10章「幕藩体制の動揺」を理解 する	幕藩体制の成立 幕藩体制の動揺	幕藩体制 幕藩体制の動揺 についてまとめる	●	●	●	36
	定期考査			●	●	●	1
	第10章「幕藩体制の動揺」を理解 する 個別指導	幕藩体制の動揺	幕藩体制の動揺 についてまとめる	●	●	●	20
							合計
							140